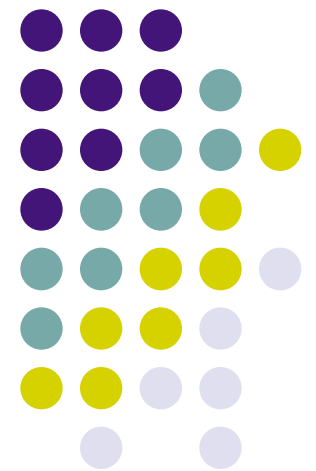


# 方言調査 1

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所  
南 雅彦

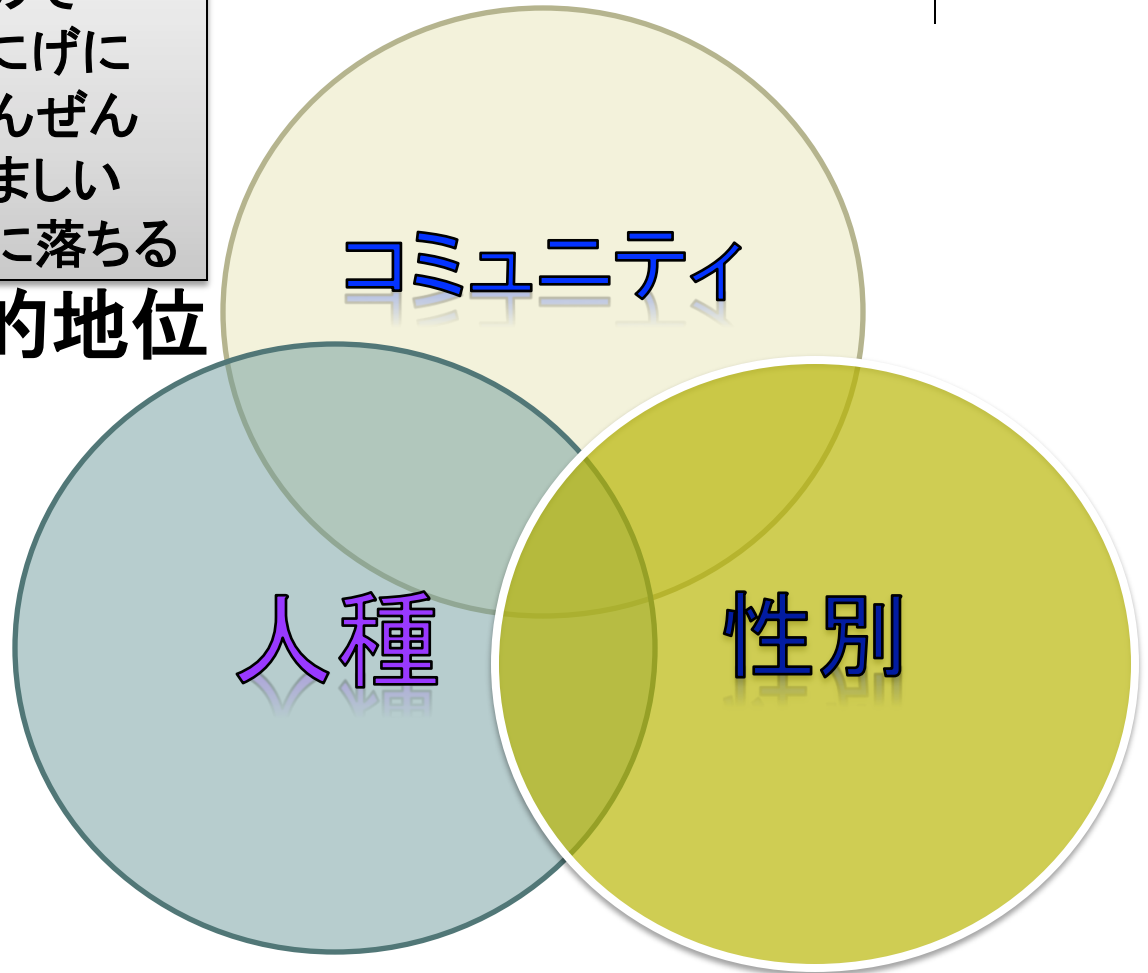


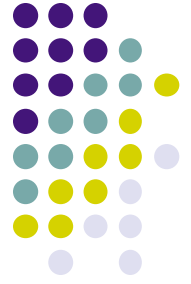


# 言語内変異

- 年齢
- 地理
- 社会階級・社会的地位
- 職業
- 教育

なので  
なにげに  
ぜんぜん  
悩ましい  
腑に落ちる





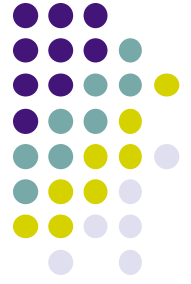
# 言語変化

- 人口1000人の村(村人は同じ言葉を話し、自分たち以外のほかの言葉を聞いたことがないと仮定)
  - 老世代は若者の言葉遣いが鼻につくと文句を言う。
  - 老世代は若者が作り出した新しい言葉が変だと非難する。
- 村が、あるとき、半分に分割される。
  - 半数の500人が「古い村」を立ち去り、川を渡り、山を越え「新しい村」を形成。
- 「古い村」と「新しい村」は完全に隔離、分断され、以後、何の接触もない。
  - この2つの村で話される言葉は徐々にだか変化していく。
  - しかも変化の方向は2つの村で同じではない。
  - 2つの村で、それぞれ新しい言語表現が生まれ、新しい発音が生まれる。
  - 究極的には、「古い村」の人々と「新しい村」の人々は互いに何を話しているのかすら理解できなくなる。



# 言語変化

- 人口1000人の村(村人は同じ言葉を話し、自分たち以外のほかの言葉を聞いたことがないと仮定)
    - 老世代は若者の言葉遣いが鼻につくと文句を言う。
    - 老世代は若者が作り出した新しい言葉が変だと非難する。
  - 村が、あるとき、半分に分割される。
    - 半数の500人が「古い村」を立ち去り、川を渡り、山を越え「新しい村」を形成。
  - 「古い村」と「新しい村」は完全に隔離、分断され、以後、何の接触もない。
- 二つの地域で音声やアクセントが異なっているのは、自然的あるいは人為的障害のために両地域間で社会的交流が希薄となった結果として、異なる方向に変化した。
  - 二つの地域で音声やアクセントが似ている、もしくは同じであるのは、両地域間で社会的交流が頻繁であった結果。



# 言語変化

- 構文的側面

- 行きましたよ            行った+ですよ(長野県上田市)
- 行きませんよ            行かない+ですよ

- 語彙的側面

- 概念の違いは？
  - (例) 家(「家屋」のみを指すのか?)
- 発音の違いは？
  - 犬      熊      山      川      空      糸
- どの分野でよく細分化された語彙を持っているか？
- 助詞の違いは？
  - 「理由」を表す助詞            から・さかい・よって・けん
  - 「断定」を表す助詞            だ・じゃ・や

# 言語変化

## ● 構文的側面

- 行きましたよ 行った+です。
- 行きませんよ 行かない+で

風位語彙の細分化(例:多雪地帯、エスキモー)基本レベル・従属レベル社会・文化のあり方の差が、言語の差に反映

- 犬 山 川 空 糸
- どの分野でよく細分化された語彙を持っているか？
- 助詞の違いは？
  - 「理由」を表す助詞 から・さかい・よって・けん
  - 「断定」を表す助詞 だ・じゃ・や

犬	イ↗ヌ	イ↘ヌ
熊	ク↗マ	ク↘マ
山	ヤ↗マ	ヤ↘マ
川	カ↗ワ	カ↘ワ
空	ソ↗ラ	ソ↘ラ
糸	イ↗ト	イ↘ト

[注:アクセント体系の境界線付近では、語彙・語法と同様、語彙ごとに個別のアクセント型分布領域を持ち「移行性分布」と呼ばれる現象がある(山口 1982)]